



「やるからには本気で、
礼を重んじる魂を
子供たちに伝える」
藤原順さん 桜室連代表

桜室連は室根町初のよさこい団体。結成7年目です。最大40人以上のメンバーがいましたが、現在は17人まで縮小しました。踊りはしっかり、礼を重んじる、技術を向上させる。この3つを重んじながら活動しています。

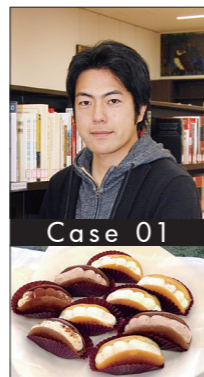
踊り切った後に浴びる拍手は最高。努力と続けることの大切さを、その都度感じます。体が動く間は踊り続けたい。私たちのライフワークです。



「子供たちの笑い声が
響き合う
温かな地域を目指して」
杉山浩さん NPO法人「郷生」代表

千厩町奥玉で「放課後等デイサービス リトル・ピース」、同町保健センター2階で「おやこ広場 てって」を運営しています。子供たちの居場所を増やそうという地域の皆さんの声に応えました。

さまざまな機関と連携し、協働で地域の子育てに関する課題を解決したいと考えています。一関には、子供たちが豊かで安心して暮らせる地域であってほしいです。



「人とのつながりを軸に
まちに新たな
ムーブメントを」
佐藤芳則さん いちのせき代表

2013年に帰郷。地域をイベントで盛り上げようと、起業応援講座に申し込みました。15年1月に「一関ルーレット」を立ち上げ、2月に全国の日本酒を楽しむイベントを実現。5月に市内のスイーツを集めたイベントを開きました。

来年、イベント運営や都市計画に携わる会社を起業します。中東北の中心という立地を生かし、多彩なイベントを開きたいです。



「誰もが
きつと想像以上。
潜在能力をひき出せ」
島山修一さん 誌マーチング部

マーチングは個人の技術ではなく全体の調和が評価されます。子供たちがチームとして丸となる様子や責任感が芽生えていく姿に心が震えます。子供たちの熱意に保護者が応え、発表の場を作っています。以前よりも規模は縮小しましたが、身の丈にあった活動でなければ続けることは難しい。続けることで新しい歴史や文化が生まれたいのだと信じています。



「地域への感謝は
言葉ではなく
ひたむきな行動で示す」
菊地潤さん 一関商工会議所理事兼東山支部長

東山支部が主催するワインパーティーは今年で13年目。若い世代に、出会いの場を提供したかったのが始まりです。パーティーをきっかけに結婚したカップルもいます。

今思うと、地域の人たちの世話になって育ったと思います。親になって、より強くそれを感じます。地域を盛り上げる姿を子供に見せたい。それが私の役割だと思っています。



「育ててもらった地域に
恩返しする。
理由なんていらぬ」
菊池亮さん 四ツ角元気市実行委員

元気市は大東町摺沢の通称「四ツ角」で行われる商業イベント。今年で14回目になります。こだわりの品や、それぞれの店のお買い得品がズラリ。試食して味や品質を確かめてもらったり、直接話すことで信頼関係を築いたり、楽しみながらイベントを運営しています。

私がそうだったように、子供たちには、楽しかったまちの思い出をたくさん作ってあげたい。

個性豊かで多様な人材が集う地域

ひと

3rd Chapter 「Human」

●第3章



ひとは褒めて伸ばす

「まち」の基本は「ひと」。「食」も「文化」も「風習」も「行事」も、すべては一関の住民がつくっているものだ。住民の活動こそが、他の地域にはない魅力であり、他の地域に誇れる一番の宝だといえる。

ラジオを通じて住民の活動と関わっている塩竈一常さん（FMあすも）は一関の「ひと」を次のように分析する。

「一関の人は、自分の活躍をあまり自慢しません。奥ゆかしいのですが、もつたないことだと思えます。困難に挑戦し、成功した。それは褒められるべきです。『よくやったね、すごいね』と互いを褒める人が増えれば、一関はもっと元気なまちになると思いますが」と話す。

言葉には、言葉とと呼ばれる特別な力がある。不平ではなく、プラス志向の言葉を口にするひとは、自らを励まし、ポジティブで諦めない意志を持てる。前を向き、何度でも挑戦する意志が、元気なまちを作るのだ。

PROFILE しがま・いちじょう

1978年一関市生まれ。97年FM-FUJIでリポーターデビュー。翌98年からパーソナリティーに。大阪を拠点に活動した後、2007年から奥州エフエム放送で活躍。12年からはFMあすものパーソナリティーとして市内で活躍。人気コーナー「GETKING!」では住民と声でキャッチボール。温かくて優しい声がファンの心をつかんでいる。「生活に寄り添い、誰かにつながる気持ちを共有したい。ラジオのパワーを感じてほしい」と笑顔のをのぞかせた。



一関で活躍する人たち。生き生きとした表情から充実した日々がうかがえる。

絶対に聞いておきたい 地域を担うキーパーソンの言葉

まちが元気かどうかは人口の規模だけではない。
まちを活性化する解決策は地域の中にこそある。
大切なのは、人と人とのつながりだ。

Interview
キーマンに
聞く